

あかるく かしこく たくましく

読書の秋・おススメのこの一冊 2024

令和6年10月30日 No. 27 文責：校長 佐野紳二

1年1組担任	オラウーちゃん	工藤ノリコ
1年2組担任	カメレオンの かきごおりや	谷口智則
1年3組担任	ペレの あたらしいふく	エルザ・ベスコフ
2年1組担任	おおきな木がほしい	佐藤さとる
2年2組担任	てんぐ はなをかむ	平田昌広：絵 平田 景：絵
2年3組担任	はじめての キャンプ	林 明子
3年1組担任	もしかしたら 名探偵	杉山 亮
3年2組担任	ポリぶくろ、1まい、すてた	ミランダ・ポール：文 エリザベス・ズーノン：絵
4年1組担任	狂言えほん「ぶす（附子）」	もとした いずみ
4年2組担任	えんとつ町の プペル	西野亮廣
4年3組担任	はれ ときどき ぶた	矢玉四郎
5年1組担任	かっこいいをさがせ① ピンツとしせい	長野康平 和田利次
5年2組担任	あなたの言葉を	辻村深月
6年1組担任	学校では教えてくれない 大切なこと	旺文社
6年2組担任	おしごと そうだんセンター	ヨシタケ シンスケ
支援学級担任①	ぜったいにおしちゃダメ？シリーズ	ビル・コッター
支援学級担任②	きみのそばにいるよ	いぬい さえこ
支援学級担任③	サンタの友だち バージニア	村上ゆみ子：文 東 逸子：絵
支援学級担任④	地球をほる	川端 誠
支援学級担任⑤	ぐりとぐらのおそうじ	なかがわえりこ：作 やまわきゆりこ：絵
支援学級担任⑥	モノのはじまり えほん	荒俣 宏
教頭先生	なりたい！が見つかる お仕事図鑑	毎日新聞出版
養護教諭	いのちのまつり「ヌチヌグスージ」	草場一壽：作 平安座資尚：絵
教務①	このあと どうしちゃおう	ヨシタケ シンスケ
教務②	おまえ うまそうだな	宮西達也
栄養職員	そらくんの すてきな給食	竹内早希子
事務職員	クイズで88本ノック	QuizKnock（クイズノック）
教務③	そうだったのか！しゅんかん図鑑	伊知地国夫
教務④	かわいそうなぞう	つちや ゆきお
A L T	The secret Garden	フランシス・ホジソン・ブネット
教務⑤	この世界の片隅に	こうの史代
教務⑥	わらってよ ピッコ	ルイス・スロボドキ
司書	ぜつぼうの濁点	原田宗典：作 柚木沙弥郎：絵
校長	ハリーポッターと賢者の石	J.K.ローリング：作 松岡佑子：訳

今年も10月15日から11月15日までの1か月間、小笠原小学校では秋の読書月間として様々な取組が行われています。その中のひとつとして、今年も図書室前の廊下には「先生方のおススメの本」が掲示されています。(図書室の中にも同じ掲示があり、おススメの本の実物が展示されています。子どもたちへの貸し出しもされています)

昨年も先生方一人一人のおススメの本をこの紙面で紹介させていただきましたが、今年も同様にそれぞれの先生方が選んだおススメの本の書名と作者を紹介させていただきます。本当は一人一人が描いた本の紹介を保護者の皆様にも見ていただきたいところなのですが…学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



私の好きなこの一冊① 「指輪物語」 J.R.R.トールキン：作

今年は子どもたちへのおススメの本として「ハリーポッターと賢者の石」を紹介しましたが、この紙面では、「子どもにはあまり勧められないけれど、私が大好きな本」を何冊か紹介させていただきます。

1冊目はJ.R.R.トールキン作「指輪物語(全6巻)」です。

私はこの物語が本当に好きで、最初に読んだ時の衝撃(感動?)は今でも覚えています。なかなかもう一度読む機会は持てないのですが、大学時代に読んだ文庫本が、今でも本棚に飾ってあります。本当は子どもたちにも紹介したいのですが、小学生が全6巻を読むのはさすがに厳しいので、おススメの本として選んだことはありません。

指輪物語や関連する物語(ホビットなど)は映画化されていますので、未視聴の方はぜひご覧になってください。

最近、プライムビデオで「力の指輪」のセカンド・シーズンが公開されました。見た方はいらっしゃいますか?



私の好きなこの一冊② 「名探偵なんか怖くない 他」 西村京太郎：作

西村京太郎さんといえば誰もが思い浮かべるのはトラベルミステリーだと思います。特に渡瀬恒彦さんがドラマで演じた「十津川警部シリーズ」が最も有名なのですが、私はどちらかというと西村京太郎さんの初期の小説が好きです。「名探偵シリーズ」もそのうちのひとつで、ポアロや明智小五郎などの名探偵が登場し、推理合戦を繰り広げるシリーズになります。私は勝手に「おじさん向けの一冊」だと思っています。小学生が読むのはちょっと難しいかなあ…

私の好きなこの一冊③ 「黒い家」 貴志祐介：作

一時期、ホラー小説にハマった時期があり、瀬名秀明さんの「パラサイト・イヴ」や鈴木光司さんの「リング」など、いくつかの本を読みました。その中でも私が一番「怖い」と思ったのが、貴志祐介さんの「黒い家」です。ホラー小説を小学生に勧めるわけにもいかないのですが、ホラー小説が好きな人が読めばきっと面白いはずですよ。

保護者のみなさんに配付した学校通信では、先日行われた陸上記録会の入賞者と記録を紹介しましたが、ホームページに名前を載せるのは控えたいと思い、校長の好きなこの一冊を拡大して掲載させていただきました。あまり興味はないと思いますが、これらの本が好きな方、いらっしゃったらぜひご連絡ください。本の魅力を一緒に語りましょう!

